

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2014-140334

(P2014-140334A)

(43) 公開日 平成26年8月7日(2014. 8. 7)

(51) Int.Cl.
A01K 97/10 (2006.01)F 1
A01K 97/10テーマコード (参考)
2B109

審査請求 有 請求項の数 10 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願2013-11380 (P2013-11380)
(22) 出願日 平成25年1月24日 (2013. 1. 24)(71) 出願人 513019243
粘 育璋
台湾南投縣埔里鎮大城路274號
(74) 代理人 110001151
あいわ特許業務法人
(72) 発明者 粘 育璋
台湾南投縣埔里鎮大城路274號
Fターム(参考) 2B109 CA37 CA40 CA41

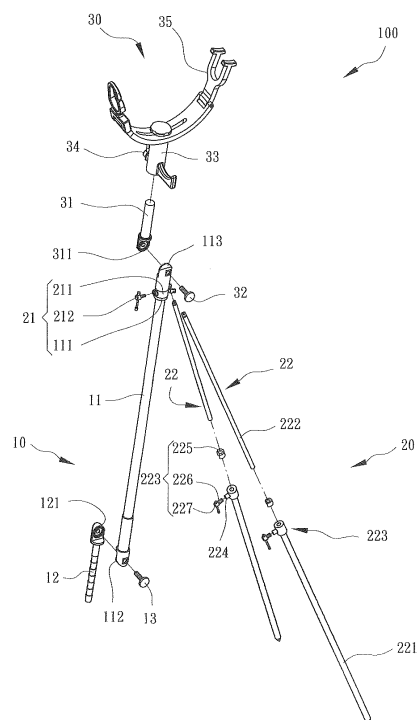
(54) 【発明の名称】 釣竿スタンド

(57) 【要約】

【課題】 釣竿スタンドの提供。

【解決手段】 釣竿スタンドは、弾性ロッド、支持フレーム及びホルダシートを具え、該弾性ロッドは所定の弾性を具え、該支持フレームは該弾性ロッドの外側に接続され、並びに弾性ロッドに対して揺動可能であり、該ホルダシートは該弾性ロッドの上端に接続され、釣竿を挟持するのに用いられる。弾性ロッドが地面に差し込まれ、並びに外力で該弾性ロッドが曲げられることで、それが緊張状態を呈するものとされ、さらに支持フレームで地上に支持され、弾性ロッドの湾曲の回復力により、弾性ロッド及び支持フレームが地面に挟持固定され、しっかりとホルダシートを固定できるほか、耐風強度を増し、風により倒されたり不注意で外力の衝突により倒されたりする状況を減らせ、これにより、本発明は大幅に釣竿を設置する時の固定効果をアップできる。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

釣竿スタンドにおいて、
所定の弾性を具備する弾性ロッドと、
該弾性ロッドの外側に接続され、並びに該弾性ロッドに対して揺動できる支持フレームと、
該弾性ロッドの上端に接続されて釣竿を挟持できるホルダシートと、
を包含し、該弾性ロッドが力を受けて湾曲し並びにエネルギーを蓄え、該弾性ロッドの回復力により該弾性ロッドと該支持フレームが挟持力を発生することを特徴とする、釣竿スタンド。

10

【請求項 2】

請求項 1 に記載の釣竿スタンドにおいて、該弾性ロッドは、弾性ロッド主体、枢接ロッド及び緊締部材を具え、該弾性ロッド主体は所定の弾性を具え、該緊締部材は該枢接ロッドの一端を該弾性ロッド主体の末端に枢接し、該緊締部材が緩められる時、該枢接ロッドが該弾性ロッド主体に対して所定角度間の揺動可能となり、該緊締部材が締められる時、該枢接ロッドと該弾性ロッド主体間の角度は緊迫位置決めされて揺動不能となり、該支持フレームは該弾性ロッド主体の外側に接続されることを特徴とする、釣竿スタンド。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の釣竿スタンドにおいて、該弾性ロッドの弾性ロッド主体と該枢接ロッドの相互枢接の当接面に、それぞれ第 1 歯面と第 2 歯面が設けられ、該緊締部材が締められ時、該第 1 歯面が該第 2 歯面と相互に噛み合い、該緊締部材が緩められる時、該第 1 歯面と該第 2 歯面は分離状態を呈することを特徴とする、釣竿スタンド。

20

【請求項 4】

請求項 1 に記載の釣竿スタンドにおいて、該支持フレームは回転ユニット及び二つの脚を具え、該回転ユニットは該弾性ロッド上に枢接され、該弾性ロッドに対して回転可能であり、該脚は該回転ユニットに枢接され、該回転ユニットに対して揺動可能であることを特徴とする、釣竿スタンド。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の釣竿スタンドにおいて、該弾性ロッドの外周面に環状溝が設けられ、該支持フレームの回転ユニットは枢接リング及び位置決め部材を具え、該枢接リングは、該弾性ロッドの環状溝内に嵌め置かれ、該枢接リングは外力作用を受けて該環状溝内で回転し、該位置決め部材は該枢接リングの一侧をロックし、並びに外力作用を受けて該枢接リング上を緊迫し、これにより該枢接リングと該弾性ロッドの間に緊迫状態を形成して回転不能とすることを特徴とする、釣竿スタンド。

30

【請求項 6】

請求項 5 に記載の釣竿スタンドにおいて、該支持フレームの脚が内管と外管を具え、該内管の一端は、該回転ユニットの枢接リングの外側に枢接され、該枢接リングに対して所定角度内の揺動を行え、該外管は該内管の他端外に嵌合され、並びに該内管に対して伸長と短縮の直線往復移動を行えることを特徴とする、釣竿スタンド。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の釣竿スタンドにおいて、該支持フレームの脚がさらに伸縮位置決めユニットを具え、該伸縮位置決めユニットは該外管に設置され、並びに該内管に対して緊迫と開放を行ない、該内管に対して開放する時、該外管は該内管に対して伸長と短縮の直線往復移動を行え、該内管に対して緊迫する時、該外管と内管はロック状態を呈し、伸長と短縮不能となることを特徴とする、釣竿スタンド。

40

【請求項 8】

請求項 7 に記載の釣竿スタンドにおいて、該支持フレームの外管に径方向のネジ孔を具え、該支持フレームの伸縮位置決めユニットは C リング、スクリューロッド及び施力部材を具え、該 C リングは該内管外周面に嵌合され、該スクリューロッドは該外管のネジ孔にねじ込まれ、並びにその一端は該 C リングに接続され、該施力部材は該スクリューロッド

50

の他端に接続されて、施力インタフェースとされることを特徴とする、釣竿スタンド。

【請求項 9】

請求項 1 に記載の釣竿スタンドにおいて、該ホルダシートはスイングロッド、圧迫部材、嵌め管、固定部材及びホルダ部材を包含し、該圧迫部材は該スイングロッドの一端を該弾性ロッドの上端に枢接して、該圧迫部材が緩められる時、該スイングロッドが該弾性ロッドに対して所定角度間の揺動を行えるようにし、該圧迫部材が締められる時、該スイングロッドと該弾性ロッド主体間の角度は緊迫位置決めされて揺動不能となり、

該嵌め管はその一端が該スイングロッドに嵌合されて、該スイングロッドに対して回転可能であり、該固定部材は該嵌め管に設置され、並びに該嵌め管に対して緊迫と開放を行ない、該固定部材が開放状態を呈する時、該嵌め管は該スイングロッドに対して回転可能で、該固定部材が緊迫状態を呈する時、該嵌め管と該スイングロッドとの間は位置決めされて回転不能となり、

該ホルダ部材は該嵌め管上に設置されて、該釣竿を挟持固定するのに用いられることを特徴とする、釣竿スタンド。

【請求項 10】

請求項 1 乃至 9 のいずれかに記載の釣竿スタンドにおいて、該弾性ロッドは地面に挿入され、該弾性ロッドが力を受けて湾曲して緊張状態を呈し、支持フレームを利用して地面上に支持され、及び弾性ロッドの回復力により、弾性ロッドと支持フレームにより地面に挟持固定されることを特徴とする、釣竿スタンド。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は釣竿に関係するアクセサリに関係し、さらに詳しくは、一種の釣竿スタンドに関する。

【背景技術】

【0002】

釣りは忍耐と体力を鍛練できるレジャー活動であるのみならず、多くの楽しみを有し、家族と一緒に釣りに出かければ、大自然と触れ合えるほか、親子関係を良好とでき、実に多くのメリットを得られる。

【0003】

釣りは場所の違いにより、磯釣り、船釣り、溪流釣り、湖釣り等に分けられる。しかし、どのような場所での釣りであっても、釣竿を握る時間が長くなれば、手腕或いは身体の負担をもたらす。

【0004】

これにより、各種の異なった形態の釣り方式において、ほとんどが適合する釣竿スタンドを有しており、釣竿を釣竿スタンドに架設して、手で保持する必要をなくしているが、磯釣りだけは適合する釣竿スタンドがない。その原因は、磯釣りの環境の大部分は、岩場であり、特に離島の釣り場の場合、離島の地質は火山岩或いはその他の岩石であり、地面はごつごつして、高さが一定でなく、釣り人はいずれも起立することが非常に難しく、適当な位置を探して釣竿スタンドを設置することはさらに難しく、それに加え、磯釣りの場所は大海環境であり、風力は非常に強く、一般の釣竿スタンドでは釣竿が風を受ける時の力に耐えられず、簡単に倒れてしまうことにある。

【0005】

このため、市場には、磯釣り用釣竿スタンドがあり、それは一本の直立する固定ロッドを有し、固定ロッド上に固定フレームを具え、固定ロッドは岩の隙間に挿入するのに用いられ、固定フレームは釣竿を置くのに用いられる。

【0006】

このような釣竿スタンドは挿入するのに適合する孔を必要とする。しかし、岩場の隙間のほとんどは孔状ではなく、一般に細長い亀裂形式であり、このような亀裂は前述の釣竿スタンドの固定ロッドを差し込めたとしても、安定性を増すためには、ハンマー等で固定

10

20

30

40

50

ロッドを亀裂中に打ち込まなければならず、操作が面倒であるのみならず、重いハンマーを携行しなければならない。

【0007】

このほか、釣竿スタンドは亀裂に沿った方向は支持がなく、このため、このような釣竿スタンドをしっかりと立てて固定することはできず、随時亀裂に沿った方向に倒れる恐れがある。このため、少し強い風に当たるだけで、該釣竿スタンドが倒されやすく、釣りの楽しさをぶち壊すほか、高価な釣竿が、該釣竿スタンドが倒れると同時に、折れてしまう状況が発生し、これは釣り人にとっては、実に大きな損失である。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

10

【0008】

これを鑑み、本発明の一つの目的は、一種の釣竿スタンドを提供することにある、それは、弾性回復力を利用して地面に挟持固定されることで、釣竿スタンドの安定性が増され、風に対する抵抗力及び外力の衝突に対する抵抗力がアップされて、風或いは外力の衝突を受けて倒れる状況を減らせるものとする。

【0009】

本発明はこのほかに、一種の架設が容易な釣竿スタンドを提供することを目的とし、その操作は簡単で、且つ各種の地形に適合するものとする。

【課題を解決するための手段】

【0010】

20

これにより、本発明は一種の釣竿スタンドを提供し、それは、所定の弾性を具備する弾性ロッド、該弾性ロッドの外側に接続され、並びに該弾性ロッドに対して揺動できる支持フレーム、該弾性ロッドの上端に接続されて釣竿を挟持できるホルダシート、を包含する。

【0011】

そのうち、該弾性ロッドは力を受けて湾曲し並びにエネルギーを保存し、該弾性ロッドの回復力により、該弾性ロッド及び支持フレームが挟持力を発生する。

【0012】

上述の釣竿スタンドは、該弾性ロッドが、弾性ロッド主体、枢接ロッド及び緊締部材を具えている。

30

【0013】

該弾性ロッド主体は所定の弾性を具え、該緊締部材は該枢接ロッドの一端を該弾性ロッド主体の末端に枢接し、該緊締部材が緩められる時、該枢接ロッドが該弾性ロッド主体に対して所定角度間の揺動することを可能とし、該緊締部材が締められる時、該枢接ロッドと該弾性ロッド主体間の角度は緊締により定位されて揺動不能となる。該支持フレームは該弾性ロッド主体の外側に接続される。

【0014】

上述の釣竿スタンドは、該弾性ロッドの弾性ロッド主体と該枢接ロッドの枢接の、相互の当接面に、それぞれ第1歯面と第2歯面が設けられ、該緊締部材が締められ時、該第1歯面は該第2歯面と相互に噛み合い、該緊締部材が緩められる時、該第1歯面と該第2歯面は分離状態を呈する。

40

【0015】

上述の釣竿スタンドは、該支持フレームが回転ユニット及び二つの脚を具えている。該回転ユニットは該弾性ロッドに枢接され、該弾性ロッドに対して回転可能であり、該脚は該回転ユニットに枢接され、該回転ユニットに対して揺動可能である。

【0016】

上述の釣竿スタンドは、該弾性ロッドの外周面に環状溝が設けられる。該支持フレームの回転ユニットは枢接リング及び位置決め部材を具え、該枢接リングは、該弾性ロッドの環状溝内に嵌め置かれ、該枢接リングは外力作用を受けて該環状溝内で回転し、該位置決め部材は該枢接リングの一側をロックし、並びに外力作用を受けて該枢接リング上を緊迫

50

し、これにより該枢接リングと該弾性ロッドの間に緊迫状態を形成して回転不能とする。

【0017】

上述の釣竿スタンドは、該支持フレームの脚が内管と外管を具えている。該内管の一端は、該回転ユニットの枢接リングの外側に枢接され、該枢接リングに対して所定角度内の揺動を行え、該外管は該内管の他端外に嵌合され、並びに該内管に対して伸長と短縮の直線往復移動を行える。

【0018】

上述の釣竿スタンドは、該支持フレームの脚がさらに伸縮位置決めユニットを具え、該伸縮位置決めユニットは該外管に設置され、並びに該内管に対して緊迫と開放を行ない、該内管に対して開放する時、該外管は該内管に対して伸長と短縮の直線往復移動を行え、

10

【0019】

上述の釣竿スタンドは、該支持フレームの外管に径方向のネジ孔を具えている。該支持フレームの伸縮位置決めユニットはCリング、スクリューロッド及び施力部材を具え、該Cリングは該内管外周面に嵌合され、該スクリューロッドは該外管のネジ孔にねじ込まれ、並びにその一端は該Cリングに接続され、該施力部材は該スクリューロッドの他端に接続されて、施力インタフェースとされる。

【0020】

上述の釣竿スタンドは、該ホルダシートがスイングロッド、圧迫部材、嵌め管、固定部材及びホルダ部材を包含する。

20

【0021】

該圧迫部材は該スイングロッドの一端を該弾性ロッドの上端に枢接して、該圧迫部材が緩められる時、該スイングロッドが該弾性ロッドに対して所定角度間の揺動を行えるようにし、該圧迫部材が締められる時、該スイングロッドと該弾性ロッド主体間の角度は緊迫位置決めされて揺動不能とされる。

【0022】

該嵌め管はその一端が該スイングロッドに嵌合されて、該スイングロッドに対して回転可能である。

【0023】

該固定部材は該嵌め管に設置され、並びに該嵌め管に対して緊迫と開放を行ない、該固定部材が開放状態を呈する時、該嵌め管は該スイングロッドに対して回転可能で、該固定部材が緊迫状態を呈する時、該嵌め管と該スイングロッドとの間は位置決めされて回転不能とされる。該ホルダ部材は該嵌め管上に設置されて、該釣竿を挟持固定するのに用いられる。

30

【0024】

上述の釣竿スタンドは、該弾性ロッドが地面に挿入され、該弾性ロッドが力を受けて湾曲して緊張状態を呈し、支持フレームを利用して地面上に支持され、及び弾性ロッドの回復力により、弾性ロッドと支持フレームにより地面に挟持固定される。

【発明の効果】

【0025】

本発明は弾性ロッドが具備する弾性により、弾性ロッドが地面に差し込まれ、並びに外力により該弾性ロッドが湾曲され、それが緊張状態を呈するものとされ、さらに、支持フレームにより地面上に支持され、該弾性ロッドの湾曲の回復力により、弾性ロッドと支持フレームが地面に挟持固定され、釣竿スタンドをしっかりと固定できるほか、風に対する抵抗力を増し、風にあたって倒れたり、或いは外力による不注意の接触を受けて倒れたりする状況を減らすことができる。

40

【図面の簡単な説明】

【0026】

【図1】本発明の実施例の立体分解図である。

【図2】図1の実施例の立体組合せ図である。

50

【図 3】図 1 の実施例の組合せ側面図である。
【図 4】図 1 の実施例の局部断面図である。
【図 5】図 1 の実施例の局部断面拡大図である。
【図 6】図 1 の実施例の局部断面拡大図である。
【図 7】図 1 の実施例の動作表示図である。
【図 8】図 1 の実施例の使用状態立体図である。
【図 9】図 1 の実施例の使用状態表示図である。
【図 10】図 1 の実施例のもう一種の使用状態表示図である。
【発明を実施するための形態】

【0027】

10

本発明の技術内容、構造特徴、達成する目的を詳細に説明するため、以下に実施例を挙げ並びに図面を組み合わせで説明する。

【0028】

図 1～10 に示されるように、本発明の提供する好ましい実施例の釣竿スタンド 100 は、弾性ロッド 10、支持フレーム 20 及びホルダシート 30 を包含する。

【0029】

そのうち、図 1～図 3 に示されるように、該弾性ロッド 10 は、所定の弾性を有し、該弾性ロッド 10 は、弾性ロッド主体 11、枢接ロッド 12 及び緊締部材 13 を包含する。

【0030】

該弾性ロッド主体 11 は、炭素繊維、ガラス繊維、金属或いはその他の所定の弾性を具えた材料で形成されたロッド体とされる。該緊締部材 13 は該枢接ロッド 12 の一端を該弾性ロッド主体 11 の末端に枢接するのに用いられ、該緊締部材 13 が開放される時、該枢接ロッド 12 は該弾性ロッド主体 11 に対して所定角度間の揺動を行え、該緊締部材 13 が緊迫される時、該枢接ロッド 12 と該弾性ロッド主体 11 の間の角度は緊迫定位されて揺動不能となる。

20

【0031】

該弾性ロッド主体 11 の外周上に環状溝 111 が設けられている。

【0032】

該枢接ロッド 12 は金属材料、たとえば、ステンレスで形成され、剛性と靱性を有し、並びに海水の浸蝕に対する耐性がある。

30

【0033】

図 1～図 6 を参照されたい。該支持フレーム 20 は、該弾性ロッド 10 の外側に接続される。該支持フレーム 20 は、回転ユニット 21 及び二つの脚 22 を具えている。

【0034】

該回転ユニット 21 は枢接リング 211 及び位置決め部材 212 を具えている。該枢接リング 211 は該弾性ロッド 10 の弾性ロッド主体 11 の環状溝 111 内に嵌められ、該枢接リング 211 は外力作用を受けて該環状溝 111 内で回転可能とされる。

【0035】

該位置決め部材 212 は該枢接リング 211 の一側をロックし（図 5 に示されるとおり）、並びに外力作用を受けて該枢接リング 211 上を緊迫し、該枢接リング 211 と該弾性ロッド主体 11 の間に緊迫状態を形成して回転不能とする。

40

【0036】

各脚 22 は内管 222、外管 221 及び伸縮位置決めユニット 223 を包含する。該内管 222 の一端は、該回転ユニット 21 の枢接リング 211 の外側に枢接され、該枢接リング 211 に対して所定角度間の揺動することを可能とし、該外管 221 は該内管 222 の他端外に嵌合され、並びに該内管 222 に対して伸長と縮短の直線往復移動を行え、且つ該外管 221 に径方向のネジ孔 224 を具え、該伸縮位置決めユニット 223 は該外管 221 に設置され、並びに該内管 222 に対して緊迫と開放を行ない、該内管 222 に対して開放する時、該外管 221 は該内管 222 に対して伸長と短縮の直線往復移動を行え、該内管 222 に対して緊迫する時、該外管 221 と該内管 222 は緊迫状態を呈し、伸

50

長と縮短を行えない。

【0037】

該伸縮位置決めユニット223はCリング225、スクリーロッド226及び施力部材227を具えている。該Cリング225は該内管222の外周面に嵌合され、該スクリーロッド226は該外管221のネジ孔224中にねじ込まれ、並びにその一端は該Cリング225に接続される。該施力部材227は該スクリーロッド226の他端に接続され（図6に示されるとおり）、外界の施力インタフェースとされる。

【0038】

このほか、該外管221の上端に拡大部228が設けられ、該拡大部228内に収容空間229が設けられて、該ネジ孔224は該拡大部228に設けられ、並びに収容空間229と連通し、該Cリング225は該収容空間229中に収容される。

10

【0039】

本実施例は、弾性ロッド10が力を受けて湾曲し並びにエネルギーを保存して発生する回復力により、該弾性ロッド10及び支持フレーム20に挟持力を発生させる。

【0040】

図1～図4、及び図7を参照されたい。該ホルダシート30は、該弾性ロッド10の上端に接続されて、釣竿の架設及び挟持固定に供される。

【0041】

該ホルダシート30はスイングロッド31、圧迫部材32、嵌め管33、固定部材34及びホルダ部材35を包含する。

20

【0042】

該圧迫部材32は該スイングロッド31の一端を該弾性ロッド主体11の上端に枢接するのに用いられ、該圧迫部材32が緩められる時、該スイングロッド31は該弾性ロッド主体11に対して所定角度間の揺動が可能となり（図7に示されるとおり）、該圧迫部材32が緊締される時、該スイングロッド31と該弾性ロッド主体11間の角度は、緊迫定位され揺動不能とされる。

【0043】

該嵌め管33はその一端が該スイングロッド31上に嵌合され、該スイングロッド31に対して360度の回転可能とされる。

【0044】

該固定部材34は該嵌め管33上に設置され、並びに該嵌め管33に対して緊締と開放を行え、該固定部材34が緩められる時、該嵌め管33は該スイングロッド31に対して360度の回転可能である。該固定部材34が締められる時、該嵌め管33と該スイングロッド31の間は定位されて回転不能となる。

30

【0045】

該ホルダ部材35は該嵌め管33上に設置され、釣竿の架設及び挟持固定に供される。

【0046】

以上は、本発明の提供する釣竿スタンド100の主要な構成部品及びその組立方式の簡単な紹介であり、続いて、その使用特徴について以下に紹介する。

【0047】

まず、図8及び図9に示されるように、本発明を使用する時は、該弾性ロッド10の枢接ロッド12を、先に岩石91の間の亀裂或いは隙間93中に挿入し、さらにわずかに弾性ロッド10を回して、該弾性ロッド主体11を、その弾性を具備する特性によりやや湾曲する状態となす。

40

【0048】

続いて、さらに、該支持フレーム20の二つの脚22を、該弾性ロッド10が弾性回復する方向の岩石91上に支持し、これにより、該弾性ロッド10を該脚22の支持により弾性回復しないようにし、これにより、該弾性ロッド10と該二つの脚22の間に、緊張状態を形成させ、回復力の作用下で、岩石91上に挟持固定されるようにし、これによりホルダシート30上に挟持された釣竿92を、しっかりと固定し、風を心配する必要をな

50

くす。

【0049】

このほか、該支持フレーム20の脚22には伸縮する外管221及び内管222が採用されたことで、地形に応じて伸縮させて使用することができる。

【0050】

以上のように、本発明は、該弾性ロッド10が具備する弾性により、弾性ロッドが地面に挿入され、該弾性ロッドが力を受けて湾曲して緊張状態とされ、さらに支持フレームにより地面に支持され、弾性ロッドと支持フレームにより地面に挟持固定され、これにより、本発明の釣竿スタンド100がしっかりと設置され、風に対する抵抗力が増されて、風により倒される状況が減少される。

10

【0051】

このほか、図10に示されるように、該枢接ロッド12と該弾性ロッド主体11の相対回転可能である特性により、異なる環境の必要に応じて、該枢接ロッド12は異なる角度で位置決めでき、大幅に本発明の適用性がアップされている。

【0052】

次に、上述の実施例中、該弾性ロッド主体11と該枢接ロッド12の相互に枢接する当接面に、それぞれ第1歯面112と第2歯面121が設けられ、該第1歯面112と該第2歯面121の相互噛み合いにより、定位時の固定効果がアップされる。すなわち、該緊締部材13が締められる時、該第1歯面112と該第2歯面121が相互に噛み合い、該緊締部材13が緩められる時、該第1歯面112と該第2歯面121は分離状態を呈する。

20

【0053】

さらに、該弾性ロッド主体11と該スイングロッド31の相互に枢接する当接面に第3歯面113及び第4歯面311が設けられ、該第3歯面113及び第4歯面311の相互噛み合いにより、定位時の固定効果がアップされる。

【0054】

上述の実施例中、該弾性ロッドと該支持フレームは岩場の地面上に固定されるが、事実上は、該弾性ロッドと該支持フレームは砂地、泥地、或いはその他の地面に固定でき、いずれも同じ効果を達成できる。

【0055】

30

以上述べたことは、本発明の実施例にすぎず、本発明の実施の範囲を限定するものではなく、本発明の特許請求の範囲に基づきなし得る同等の変化と修飾は、いずれも本発明の権利のカバーする範囲内に属するものとする。

【符号の説明】

【0056】

- 100 釣竿スタンド
- 10 弾性ロッド
- 11 弾性ロッド主体
- 111 環状溝
- 112 第1歯面
- 113 第3歯面
- 12 枢接ロッド
- 121 第2歯面
- 13 緊締部材
- 20 支持フレーム
- 21 回転ユニット
- 211 枢接リング
- 212 位置決め部材
- 22 脚
- 221 外管

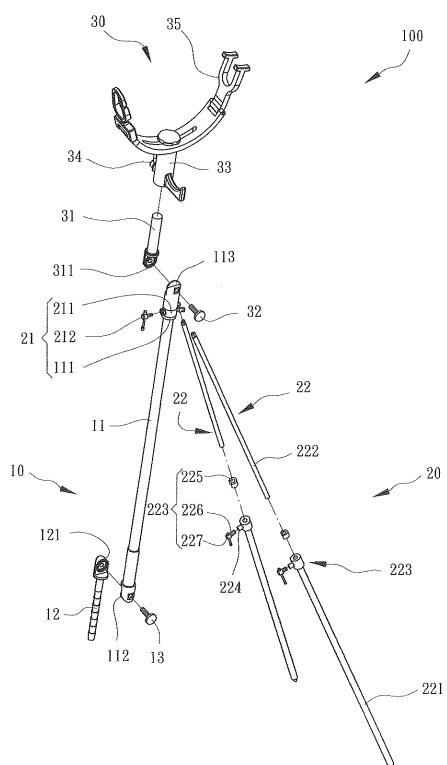
40

50

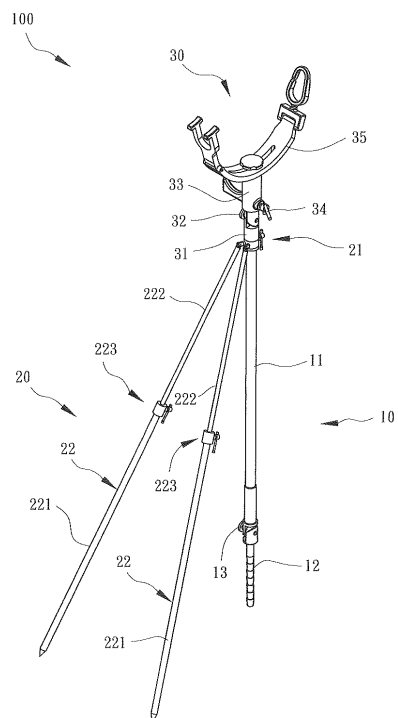
- | | |
|-------|------------|
| 2 2 2 | 内管 |
| 2 2 3 | 伸縮位置決めユニット |
| 2 2 4 | ネジ孔 |
| 2 2 5 | Cリング |
| 2 2 6 | スクリーロード |
| 2 2 7 | 施力部材 |
| 2 2 8 | 拡大部 |
| 2 2 9 | 収容空間 |
| 3 0 | ホルダシート |
| 3 1 | スイングロード |
| 3 1 1 | 第4歯面 |
| 3 2 | 圧迫部材 |
| 3 3 | 嵌め管 |
| 3 4 | 固定部材 |
| 3 5 | ホルダ部材 |
| 9 1 | 岩石 |
| 9 2 | 釣竿 |
| 9 3 | 亀裂或いは間隙 |

10

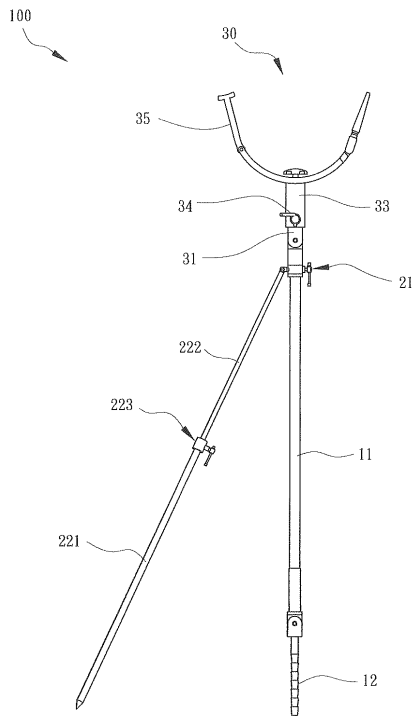
【图 1】



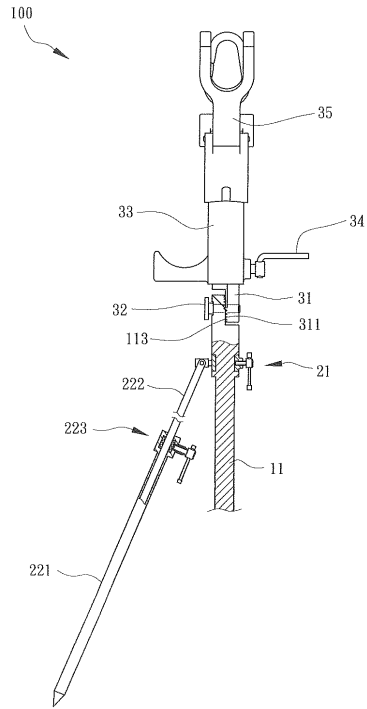
【图 2】



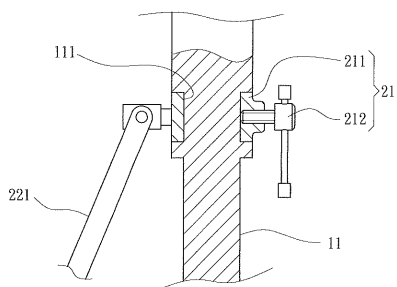
【図 3】



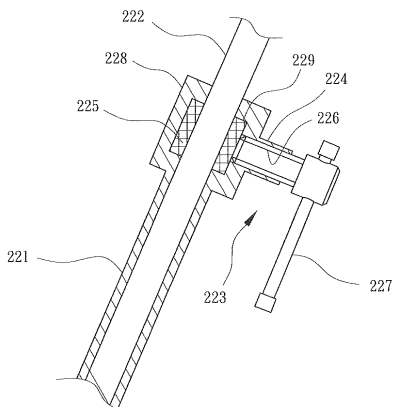
【図 4】



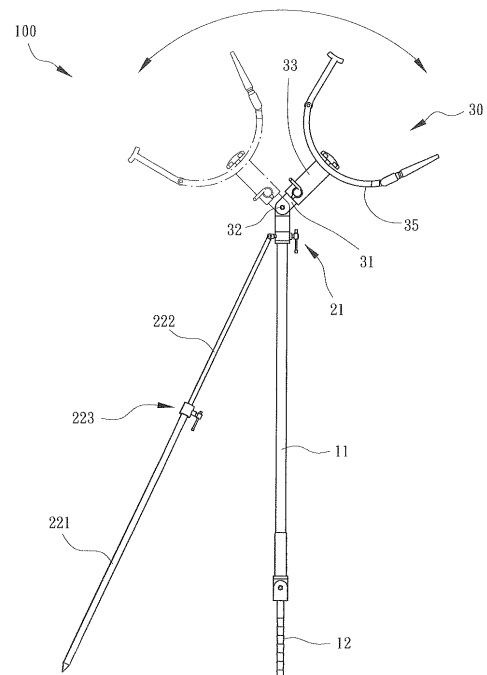
【図 5】



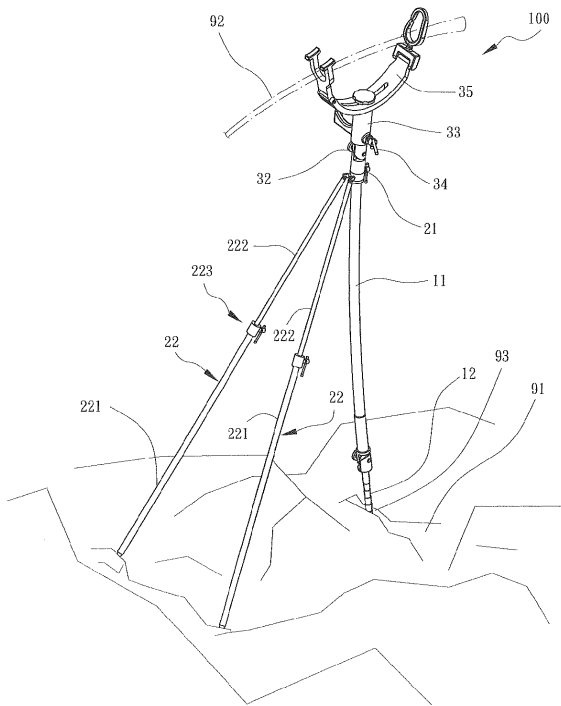
【図 6】



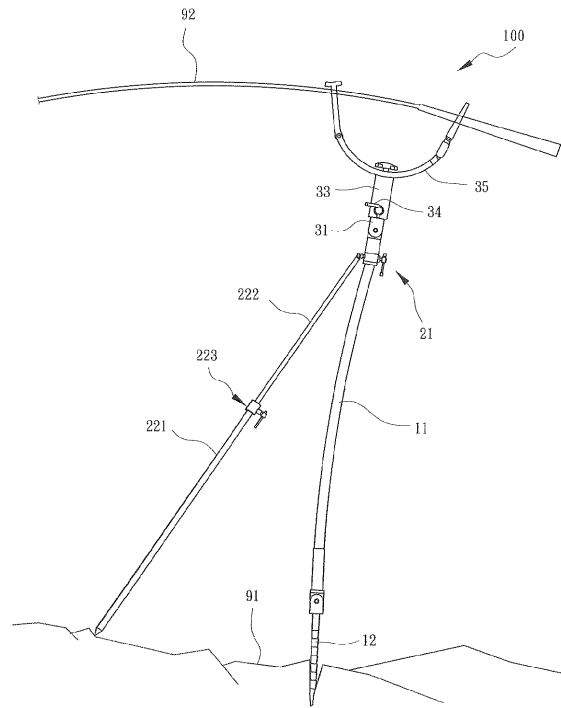
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【図 10】

